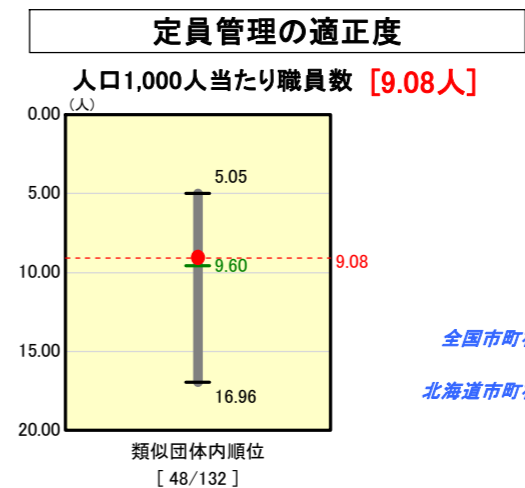
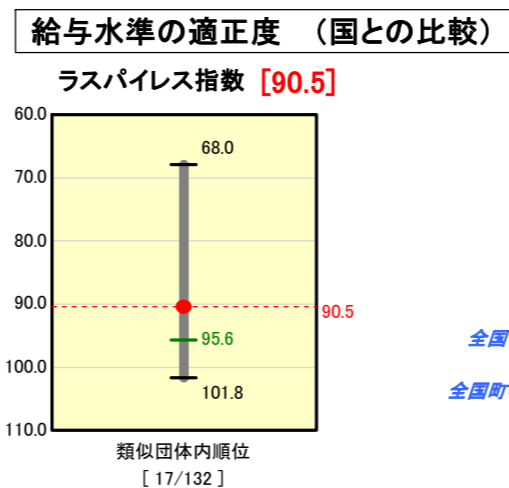
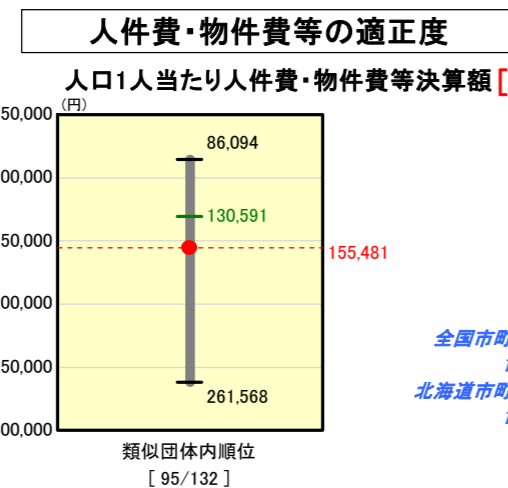
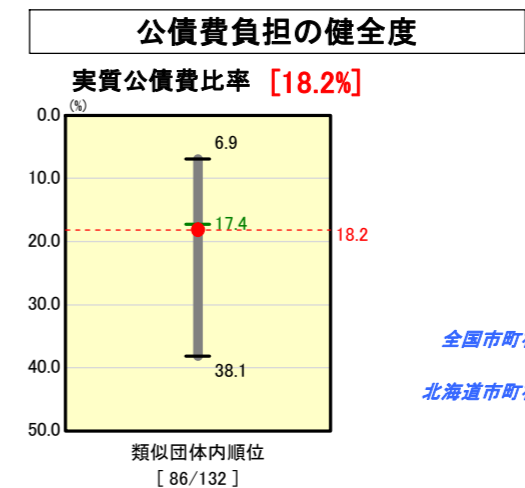
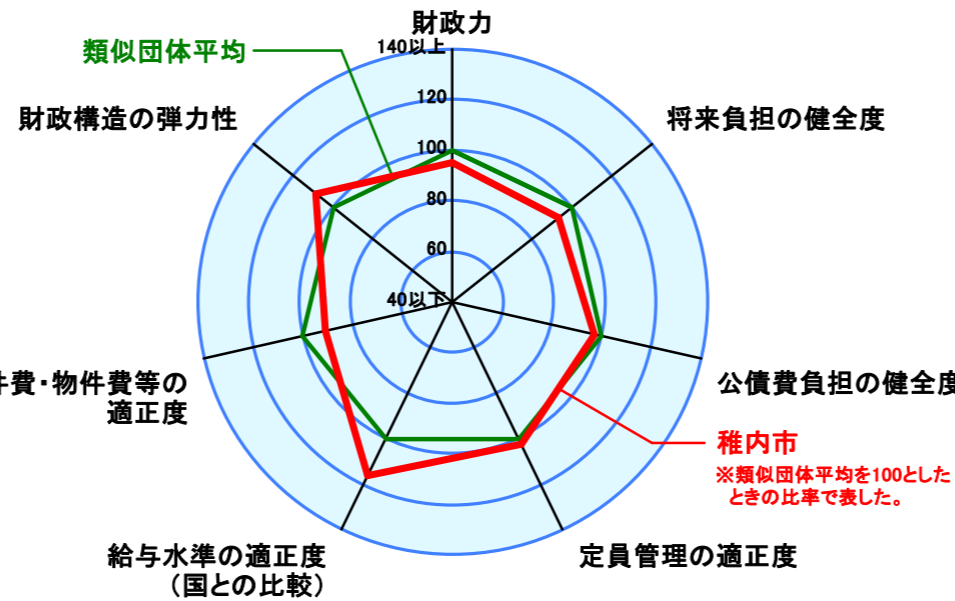
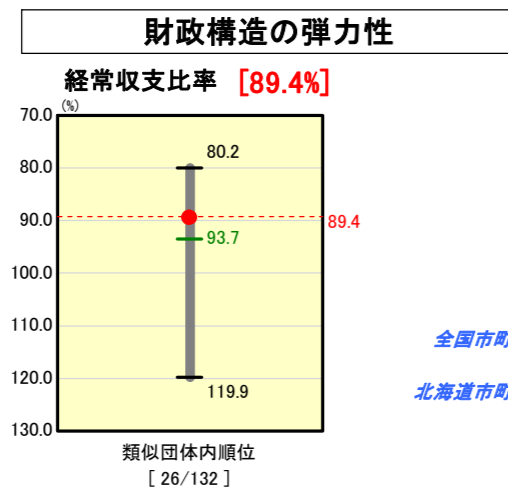
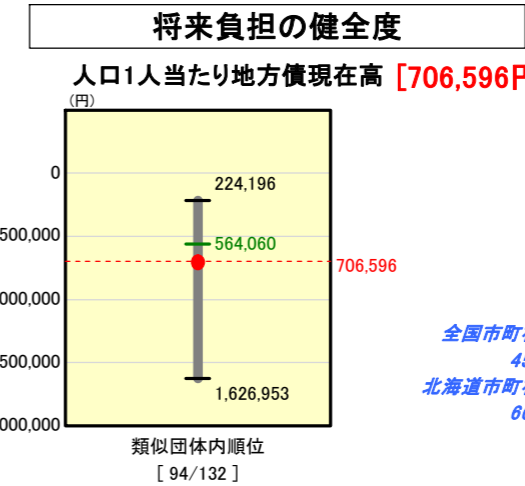
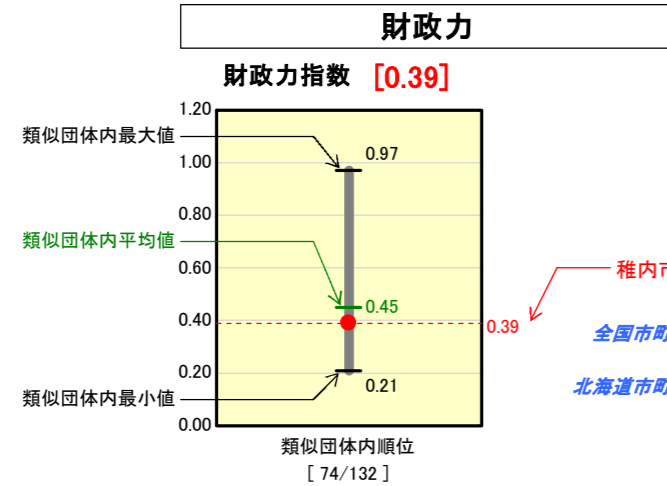


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

北海道 稚内市

人口	40,868	人(H19.3.31現在)
面積	760.80	km ²
歳入総額	22,756,349	千円
歳出総額	22,614,745	千円
実質収支	130,511	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 税源移譲及び水産業等の税収が伸びたため、0.01増の0.39となっている。今後も、退職者不補充による人件費の削減や事務事業の見直しを行い歳出を削減するとともに、市税等の徴収率向上に取り組み歳入の確保に努める。

経常収支比率: 人件費や公債費が減少し、市税や譲与税等の歳入が増加したことにより、1.7%減少している。類似団体平均を下回っているが、依然として高い数値であるため引き続き歳出の削減を行う。

実質公債費比率: 計画的な地方債発行により公債費が減少してきており、比率は0.4%下がりに18.2%となっているが、類似団体と比較すると0.8%上回っているため、平成24年度までに類似団体平均の水準を下回るよう努める。

地方債現在高: 港湾事業など地域の特性に伴う事業の実施による地方債残高があるため、類似団体を大きく上回っているが、今後も計画的な地方債の発行を行い、類似団体平均の水準となるよう努める。

ラスパイレ指数: 地域給与制度導入等の給与制度見直しにより、類似団体平均を下回っているが、今後も引き続き給与の適正化に努める。

人口1,000人当たりの職員数: 退職者不補充や定員の適正化を進め、類似団体平均を下回っているが、今後も職員の適正化に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体を上回っているが、人件費の見直しや指定管理者導入等により、決算額は下がってきており、今後も見直しを進めるよう努める。